Seismic Intensity Map (In Case Of Strong Local Earthquake)

春日井市直下の地震

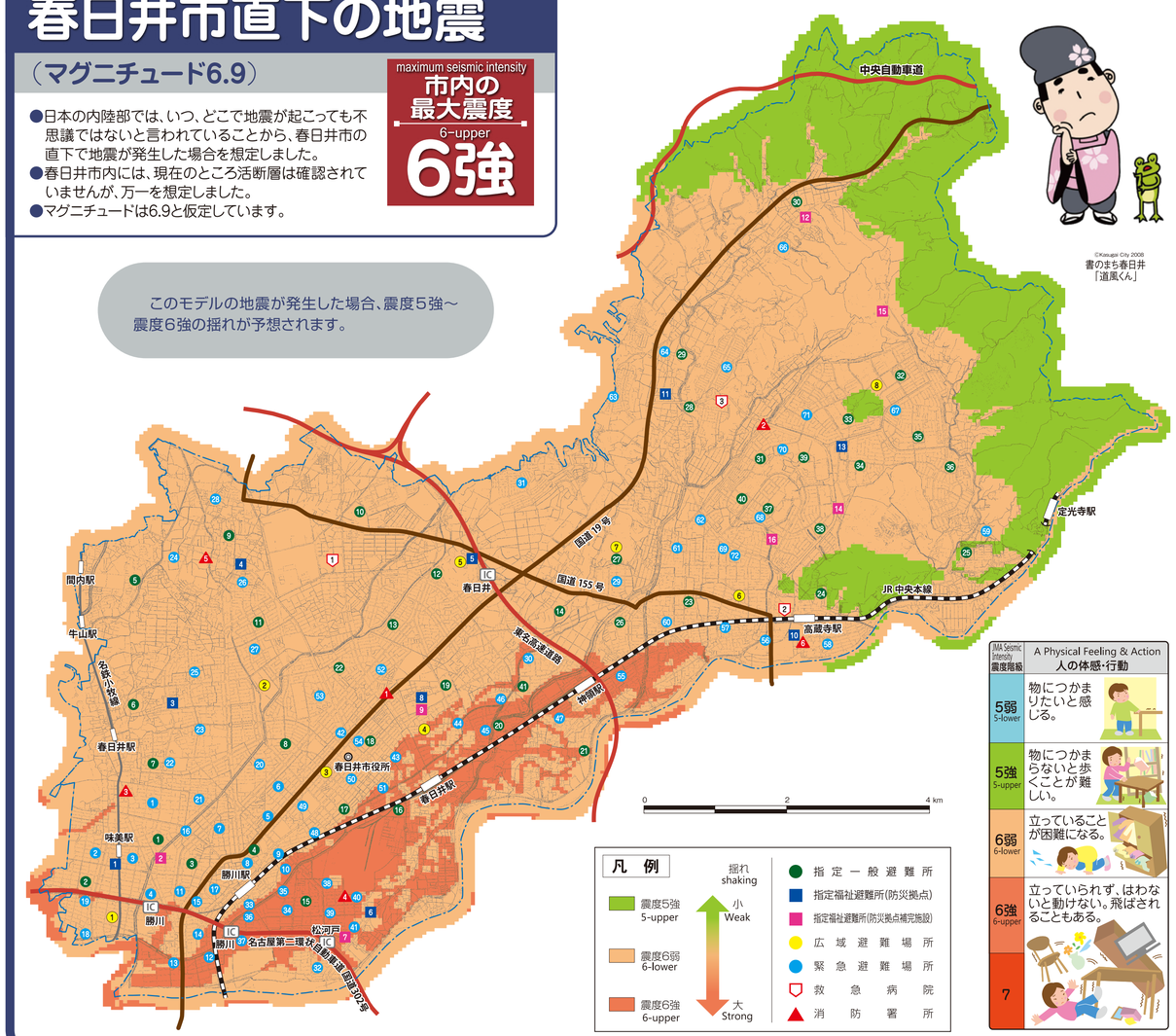
（マグニチュード6.9）

maximum seismic intensity
市内の最大震度
6-upper
6強

- 日本の内陸部では、いつ、どこで地震が起こっても不思議ではないと言われていることから、春日井市の直下で地震が発生した場合を想定しました。
- 春日井市内には、現在のところ活断層は確認されていませんが、万一を想定しました。
- マグニチュードは6.9と仮定しています。

©Kasugai City 2008
書のまち春日井
「道風くん」

このモデルの地震が発生した場合、震度5強～震度6強の揺れが予想されます。



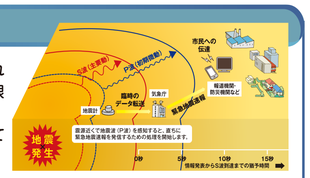
凡例	揺れ shaking
震度5強 5-upper	小 Weak
震度6弱 6-lower	
震度6強 6-upper	大 Strong

- 指定一般避難所
- 指定福祉避難所(防災拠点)
- 指定福祉避難所(防災拠点補完施設)
- 広域避難場所
- 緊急避難場所
- 救急病院
- 消防署所

JMA Seismic Intensity 震度階級	A Physical Feeling & Action 人の体感・行動
5弱 5-lower	物につかまりたいと感じる。
5強 5-upper	物につかまらないと歩くことが難しい。
6弱 6-lower	立っていることが困難になる。
6強 6-upper	立っていられず、はわないと動けない。飛ばされることもある。
7	

緊急地震速報

- 地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせるために発表されます。
- 緊急地震速報を聞いたら、落ち着いて安全行動をしましょう。



緊急地震速報を聞いたら…

学校
- 先生の話をよく聞いて、机の下などにかくれて身を守りましょう。

家の外
- ブロック塀など、倒れたり落ちてきたりするものから離れましょう。

電車・バス
- 急ブレーキにそなえて、手すりなどにしっかりつかまりましょう。

人がたくさんいるところ
- あわてて出口に走り出さず、係の人に従って落ち着いて行動しましょう。

「命」を守る

- 自宅の耐震化や家具の転倒防止など、「減災対策」を行うことで、地震による被害を抑えることができます。
- 今一度、我が家の状況を見つめ直しましょう。

はじめよう！ 我が家の耐震化

住宅の耐震性とは？

- 地震による大きな被害のひとつである建物の倒壊は、『古い建築基準で建てられている』、『配置のアンバランス』、『老朽化』等の耐震性の低さが要因であると言われています。

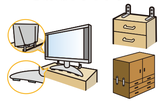
木造住宅の無料耐震診断・耐震改修費補助

- 市では、昭和56年5月31日以前に着工された在来軸組構法・伝統構法の木造住宅を対象に、専門家(県の講習を受け、登録された耐震診断員)による無料耐震診断を行っています。
- 市の無料耐震診断を受けて、判定値が1.0未満(倒壊する可能性がある)と診断された住宅を対象として、判定値を1.0以上(一応倒壊しない)とする耐震改修費用の一部を補助しています。
- 大規模地震に備えて、わが家の耐震性を知るために、まずは無料耐震診断を受けましょう。

家の中の安全対策

家具の配置
- 家具が倒れることで入口を塞いでしまわないように配置しましょう。
- 少しでも安全なスペースを確保できるように配置しましょう。
- 就寝中に地震が発生した場合には、倒れた家具の下敷きになることもありますので、寝室にはできるだけ家具類は置かないようにしましょう。

家具の固定
- L字金具などで家具を固定しましょう。
- テレビが倒れないように、器具を使って壁などに固定したり、耐震マット(ゲル)を使用しましょう。



耐震シェルター
- 室内にフレームなどの構造物を組み込んで、一部屋を安全にすることにより命が守られます。(市の補助制度あり)

情報収集と災害時の安否確認

情報収集

- 警察・消防や市ホームページ、テレビ（dボタン）・ラジオ放送から正確な情報を得るようにしましょう。
- SNS等にはデマが混じることもありますので、過信は禁物です。
- 市では、情報配信登録をされた皆さんに、安全安心情報を携帯電話やパソコンにメールで配信します。携帯電話からの登録は、右のQRコードを読み取っていただくか、次のアドレスに空メールを送信してください。

▲QRコード

※登録料は無料ですが、通信料は利用者の負担となります。

空メール送信用アドレス	t-kasugai@sg-m.jp

- パソコン用登録サイトはこちら
  https://service.sugumail.com/kasugai/member/

安否確認

- 災害直後は、被災地への通話がつながりにくくなります。災害用伝言ダイヤル171を利用しましょう。
- メールや Web 伝言板（WEB171）でも、安否情報を伝えることができます。

dial 171

避難所について

避難所の開設時期

- 春日井市で震度5強以上の地震が発生した場合、市職員は、あらかじめ指定された参集先に参集し、避難所を開設します。

避難所運営のルール

- 市の指定避難所では、避難者の中から選ばれたリーダーのもと、「市職員」や「施設管理者」の支援によって自主運営されます。
- 不自由な生活を少しでも良くするために、皆さんで協力することが必要です。

避難所での心得

1. 必要なルールを定め、避難所の運営や問題解決に努めましょう。
2. 避難者の中から選ばれたリーダーを中心に、各自が役割を分担し、自分でできる範囲で積極的に協力しましょう。
3. 避難所で必要なものは、自分たちで事前に用意しておきましょう。
4. 避難所では、トイレ、更衣室、授乳室、洗濯物の干し場など、男女の性別の配慮をしましょう。

指定避難所の備蓄物資

市内41か所の指定避難所には防災備蓄倉庫があり、分散備蓄を行っています。

- 十分な数はありませんので、日頃の備えをしておきましょう。

備蓄物資の例

物資名	1施設の数量
クラッカー	160食
500ml 飲料水	168本
毛布	30枚
簡易トイレ	4基
簡易間仕切り	6セット
ガス発電機	2台

地域防災組織支援事業

区・町内会や自主防災組織へ備蓄食糧の購入費用などを補助しています。

- 地域の防災マニュアルを作成した区・町内会や自主防災組織などに対して、備蓄食糧などの購入費用や、マニュアル印刷費用の一部を補助しています。

During Earthquake 揺れが起こったら…

1. 狭い路地等ではなく、開けた所に移動する。
2. 電線・自動販売機・ブロック塀など危険なものから離れる。
3. 沿岸部にいるときには海岸から離れる。（津波に注意）
4. 斜面から離れる。（崖崩れに注意）

屋外にいるとき out of doors

Find a clear spot and drop to the ground.

Escape from cliffside or seaside.

屋内にいるとき within a building

1. 机の下にもぐる等、まずは身の安全を守る。
2. エレベーターは使わない。
3. 慌てて外へ飛び出さない。
4. 素足で歩かない。
5. 戸やドアを開けて逃げ道を確保。
6. 棚や家具から離れる。
7. 火が出たら初期消火。（無理はしない）

DROP, COVER and HOLD ON!

Stay indoors until the shaking stops and make sure it is safe to exit.

運転中 in a vehicle

1. 道の脇に停車、揺れがおさまるまでは車内で待機する。

Pull over to a clear location and stop.

2. 車の通行が不可能な場合は、ドアはロックせずキーを付けたままで待避する。

Evacuate with the car doors unlocked & the key left in.

After Earthquake 揺れがおさまったら…

1. 避難は徒歩、荷物は最小限とする。

Go to the shelter on foot with a minimum package.

2. 学校などに子供を迎えに行く。

Go to school and take the children back.

3. 火が出ていたら、大声で知らせる。協力し合って応急救護。

Inform loudly and cooperate with others on fire.

4. 避難時は連絡メモを忘れない。

Post a message in clear view.

5. 正しい情報をつかみ、デマに惑わされない。電話の使用は最小限。

Listen to the radio or watch TV. Don't use the phone unless it's an emergency.

6. 壊れた建物には立ち入らない。

Stay away from damaged areas.

日頃の備え

家族等の連絡先

	名前	電話番号	会社・学校	住所
家族等の連絡先				

最寄りの避難所 名称	家族の集合場所 名称

防災用品チェックリスト Emergency Kit Checklist

特に重要な物を、持ち運びしやすいサイズにまとめておきましょう。

食料関係
- □ 保存食
- □ 水
- □ 紙皿等食器
- □ ラップ
- □ アレルギー対応非常食
- □ 缶切など
- □ 離乳食
- □ 乳児食
- □ 粉ミルク
- □ 液体ミルク

- 水は一人1日3L必要です
- 備蓄は1週間分が目安です
- 食品等は日常備蓄し、使いながら補充する「ローリングストック法」も有効な手段です。

資機材関係
- □ 軍手
- □ ラジオ
- □ ライター
- □ カッターナイフ
- □ 懐中電灯
- □ 電池
- □ ガムテープ
- □ ヘルメット
- □ 雨具
- □ ポリタンク

衛生関係
- □ 傷薬、ばんそうこう
- □ 常備薬
- □ お薬手帳
- □ 衣類、下着
- □ タオル
- □ マスク
- □ 化粧品
- □ 生理用品
- □ ウエットティッシュ
- □ ティッシュ
- □ ポリ袋
- □ 携帯用トイレ
- □ 洗面用具
- □ 紙おむつ
- □ 入れ歯
- □ アルコール消毒液

その他
- □ 保険証など
- □ 通帳・印鑑
- □ 現金（小銭）
- □ 予備の鍵
- □ 筆記用具
- □ 緊急時連絡帳
- □ レジャーシート
- □ カセットコンロ
- □ 眼鏡
- □ 携帯電話充電器
- □ ホイッスル
- □ 古新聞紙
- □ コンタクトレンズ